

第3章

基本理念

1. 沖縄市水道事業基本計画の基本理念

2. 基本理念に基づく方策の体系図





第3章 基本理念

1. 沖縄市水道事業基本計画の基本理念

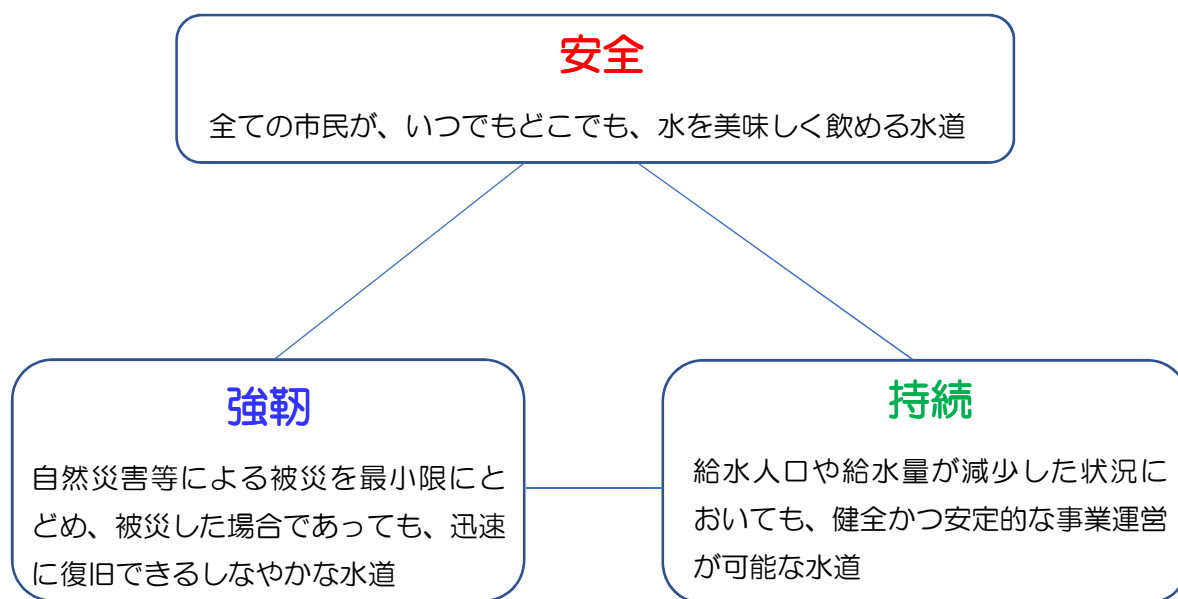
基本理念

「 地域とともに信頼を未来につなぐ水道 」

水道事業を取り巻く時代の転換点において、水道事業者が共有すべき理念は、これまで地域において築き上げてきた需要者との信頼に基礎を置き、地に足がついたものでなければなりません。また、これからの水道とは時代や環境の変化に的確に対応しつつ、水質基準に適合した水道水が、必要な量、いつでも、どこでも、誰でも、合理的な対価をもって、持続的に受け取ることが可能な水道を示します。

今後も前ビジョンにおける基本理念を念頭に置きながら、新時代の様々な課題を乗り越えていくため、令和7年度から令和16年度までを計画する「沖縄市水道事業基本計画（令和7年3月策定）」において、「安全」・「強靱」・「持続」をさらに強化し、これまでの実現方策のレベルアップを実現することで、次の世代へ繋いでまいります。

三つのテーマ



2. 基本理念に基づく方策の体系図

本ビジョンにおいて目指す理想像を実現するために定めた 10 の重点的な実現方策と、19 の具体的な方策について体系図を示します。

基本理念	基本テーマ	重点的な実現方策	具体的な方策	SDGsとの関連
「地域とともに信頼を未来につなぐ水道」	強靱	【1】水道施設のレベルアップ	(1) 送配水管 (2) 配水池、配水ポンプ場 (3) 配水ブロック (4) 有効率の向上	 
	持続	【2】資産管理の活用	(1) 健全な水道事業を目指す (2) 持続可能な経営基盤	 
	持続	【3】人材育成・組織力強化	(1) 環境の変化に対応できる職員育成	
	強靱	【4】危機管理対策	(1) 事故・災害時に対応できる水道 (2) 応急給水 (3) 災害復旧その他	
	持続	【5】環境対策	(1) 環境に配慮した社会を目指す (2) 河川流域を守る	    
	持続	【6】住民との連携	(1) コミュニケーションの拡充 (2) 水道サービスの向上	
	安全	【7】貯水槽水道対策	(1) 貯水槽の管理	 
	安全	【8】安全な水道水	(1) 適切な水質管理	 
	持続	【9】国際貢献	(1) 連携による技術支援	 
	持続	【10】新技術などの活用	(1) IT 技術の促進や DX による利便性向上 (2) 官民連携	 

■SDGsについて

沖縄市水道事業で掲げる基本テーマ、重点的な方策、具体的な方策に関連のあるSDGsについて、以下に示します。

SDGs マーク	SDGsのゴール	水道事業での主な取り組み
	目標 3 [保健] あらゆるすべての人々の健康的な生活を保護し、福祉を促進する	・小規模貯水槽の管理、指導 ・水質検査結果の公表 ・国際協力における技術支援継続
	目標 6 [水・衛生] すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する	・アットマーマットの作成・活用 ・水道料金改定
	目標 7 [エネルギー] 全ての人の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する	・環境に配慮した車両の導入 ・DX 推進計画の実行
	目標 8 [経済成長と雇用] 包括的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する	・適切な人事サイクルの構築 ・包括委託の導入調査研究
	目標 9 [インフラ、産業化、イノベーション] 強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る	・水道施設整備事業計画の継続 ・IT 技術の活用
	目標 11 [持続可能な都市] 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する	・重要施設における管路耐震化 ・更新事業における財源確保
	目標 13 [気候変動] 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる	・環境に配慮した車両の導入 ・ペーパーレス等の推進
	目標 14 [海洋資源] 持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する	・河川浄化等の啓発活動 ・下水道の普及促進
	目標 17 [実施手段] 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する	・住民への情報発信や意見聴取 ・国際協力における技術支援継続